

## 2. 中心市街地の位置及び区域

### (1) 位置

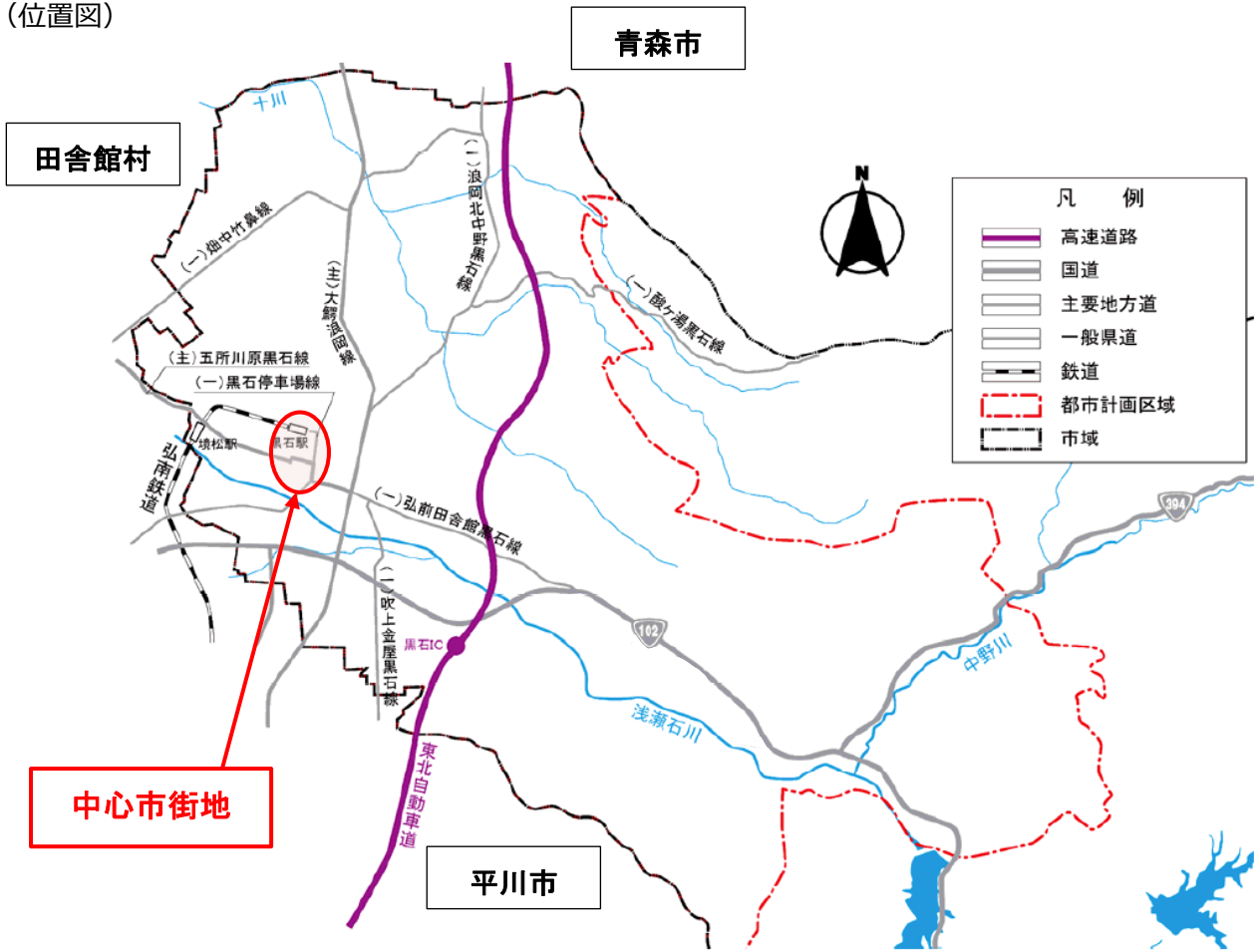
#### 1) 位置設定の考え方

黒石市は青森県の中央に位置しており、黒石藩の城下町であった中心市街地は、多くの旅人が訪れる交通の要として栄えた。また、その時につくられた「こみせ通り」は数多くの商店が立ち並び、この地域の商業の中心であった。

国鉄黒石線、弘南鉄道弘前・黒石間の開通などにより中心商店街の位置は変わっていったが、こみせ通り周辺は、市役所などの行政施設が立地しているほか、重要伝統的建造物が数多く残された観光地となっている。また、中心市街地周辺には多くの都市施設が集積しており、本市ばかりでなく市外からの利用者も多い。

このような歴史的背景や都市機能、観光地としての状況を踏まえて、本計画における中心市街地は黒石駅、商店街や市役所、こみせ通りを含むエリアを範囲とする。

(位置図)



## (2) 区域

### 1) 区域設定の考え方

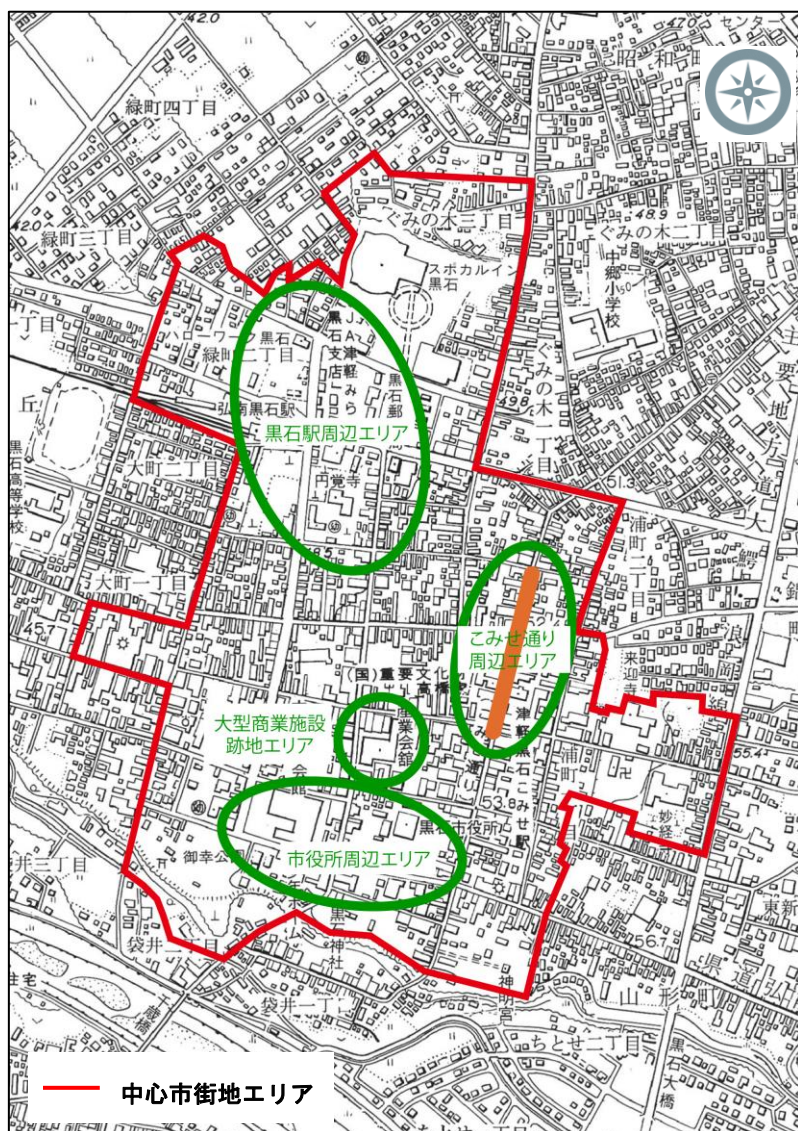
#### ■ 区域についての考え方

黒石市の中心市街地は、弘南鉄道黒石駅を玄関口として、日本の道百選に選定された「こみせ通り」を中心に、蔵や庭園を備えた「かぐじ」、国重要文化財高橋家、名勝金平成園（澤成園）等の歴史的遺産が現存しており、これまでの中心市街地の成り立ちや商店街振興組合等の組織状況、都市計画における用途地域を勘案し、黒石駅周辺エリア、大型商業施設跡地エリア、こみせ通りエリア、市役所周辺エリアを区域として設定する。

#### ■ 区域面積

76.5ha

### (区域図)



### (3) 中心市街地要件に適合していることの説明

要件	説明																				
<p><b>第1号要件</b>            (当該市街地に、相当数の小売商業者が集積し、及び都市機能が相当程度集積しており、その存在している市町村の中心としての果たしている市街地であること)</p>	<p><b>1) 公共公益施設の集積</b>            中心市街地内には、市役所をはじめとした行政機関やスポカルイン黒石などの大型レクリエーション施設が整備され、中心市街地内の居住者ばかりでなく全市、市外からの利用者も多く訪れている。            また、中心市街地周辺には、市立小・中学校、県立高等学校等の教育施設や黒石病院、老人福祉センター等の保険福祉施設といった主要な施設が集積している。</p> <p><b>2) 商業の集積</b>            平成30年現在、中心市街地内の商店街振興組合等は5団体ある。</p> <p>〈商業の集積状況〉</p> <table border="1" data-bbox="544 878 1436 1086"> <thead> <tr> <th></th> <th>黒石市</th> <th>うち中心市街地</th> <th>シェア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小売店数</td> <td>264 事業所</td> <td>72 事業所</td> <td>27.3%</td> </tr> <tr> <td>売り場面積</td> <td>40,312 ㎡</td> <td>6,462 ㎡</td> <td>16.0%</td> </tr> <tr> <td>従業者数</td> <td>1,847 人</td> <td>325 人</td> <td>17.6%</td> </tr> <tr> <td>年間販売額</td> <td>26,759 百万円</td> <td>2,702 百万円</td> <td>10.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">出典：平成26年商業統計調査</p> <p><b>3) 公共交通機関の集積</b>            中心市街地内には弘南鉄道弘南線の黒石駅があり、弘前から16.8kmを29分で運行している。民間のバス会社が運行する市内を起終点とするバスは、市回遊バスを含めて24系統ある。市回遊バスは、5コース29便が運行され、既存の路線バスが走っていないコースを中心に公共施設等を回遊し、交通空白地帯と中心市街地を結んでいる。</p> <p><b>4) 歴史的位置付け</b>            旧黒石藩の城下町として造酒屋、しょう油屋、みそ屋、米屋、呉服屋などの商店を中心に栄え、この時に作られた「こみせ」とともに地方の経済界をリードしてきた。明治時代になり、廃藩置県を経ても、黒石町として政治・経済・文化の面で南津軽郡の中心的役割を果たしてきた。</p>		黒石市	うち中心市街地	シェア	小売店数	264 事業所	72 事業所	27.3%	売り場面積	40,312 ㎡	6,462 ㎡	16.0%	従業者数	1,847 人	325 人	17.6%	年間販売額	26,759 百万円	2,702 百万円	10.1%
	黒石市	うち中心市街地	シェア																		
小売店数	264 事業所	72 事業所	27.3%																		
売り場面積	40,312 ㎡	6,462 ㎡	16.0%																		
従業者数	1,847 人	325 人	17.6%																		
年間販売額	26,759 百万円	2,702 百万円	10.1%																		

<p><b>第2号要件</b></p> <p>当該市街地の土地利用及び商業活動の状況等からみて、機能的な都市活動の確保又は経済活力の維持に支障を生じ、又は生ずるおそれがあると認められる市街地であること。</p>	<p><b>1) 商業活動の停滞</b></p> <p>小売業事業所数は、黒石市全体及び中心市街地ともに減少傾向にある。また、市全体に占める中心市街地の事業所数の割合は、平成14年の31.9%から平成26年の27.3%まで低下している。</p> <p>中心市街地エリア内の売り場面積も平成9年より年々減少しており、商業従業者数も一貫して減少している。</p> <p>市全体及び中心市街地エリアの年間販売額は、ともに減少傾向にあり中心市街地エリアでは平成9年から平成26年で約4分の1まで減少した。また、人口規模と事業所数が同等の他市と比較しても1事業所当たりの年間販売額は下回っており、商業活動は停滞している。</p> <p><b>2) 空洞化の進行</b></p> <p>中心市街地の主だった商店街（一番町通り商店街振興組合、横町向上会、こみせ通り商店街振興組合）の空き店舗数は、平成15年から21年の間に26店から44店へ増加し、その後は年間約30店ほどで推移している。</p> <p><b>3) 歩行者・自転車通行量</b></p> <p>市で実施した商店街交通量調査によると歩行者通行量は、減少している。</p> <p>特に平日の歩行者通行量は、平成17年の5,254人から平成29年には2,272人と約57%減少している。</p> <p><b>4) 人口減少と高齢化の進行</b></p> <p>黒石市の人口は、平成12年より一貫して減少を続けている。</p> <p>中心市街地においては人口、世帯数ともに市全体の減少率を上回る状況が続いており、市全体の人口に対する中心市街地人口のシェアは平成20年の6.5%から平成23年までは横ばいとなっていたが、平成23年以降徐々に低下し、平成30年には6.3%となっている。</p> <p>また、黒石市の老年人口は増加を続けており、人口動態でも平成23年からの推移をみると、自然動態（出生数・死亡数）では死亡数が出生数を上回る自然減が続いている。</p>
---	---

### 第3号要件

当該市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進することが、当該市街地の存在する市町村及びその周辺の地域の発展にとって有効かつ適切であると認められること。

平成27年5月策定の「第5次黒石市総合計画後期基本計画（計画期間：平成27年度～平成30年度）」において、将来像を「なつかしい、おいしい、あらたしい 黒石」のキャッチフレーズで表現し、分野別に6つのまちづくりの目標を定め、協働による住民満足度の向上と地域の活性化を目指し、4つの重点プロジェクトを設定している。

この中でまちづくりの目標2「活気にあふれるまち（産業振興）」を位置づけ、市民生活を支える多様な産業の連携や進行をはかり、活気あふれるまちをめざすとし、個別施策として「商業・サービス業の振興」で「こみせ」と連動した魅力ある市街地づくりを展開している。

## 2-2 商業・サービス業の振興

### この施策がめざす将来の姿

本市の歴史と文化が息づいた黒石らしさが感じられ、にぎわいと心いやされる空間のある商店街を、市民と行政が一体となって育むことをめざします。

### 施策内容

地元の人とともにイベントや祭りの開催を支援し、歴史や文化を生かした広域的観光を取り入れた、にぎわいのある商業の振興をはかります。

### 後期4年の対象項目・取組事業

#### ①経営体質の強化

商工業等関係機関と連携のもと、経営の改善や後継者の育成、地元商店ならではの地域に密着したサービスの展開等を促進するほか、各種融資や支援制度の周知と活用を促し、経営体質の強化をめざします。

#### ②商店街の環境・景観整備

将来に向け発展性のあるまちづくりのため若年層を巻き込みながら、世代を超えた人々が集い、にぎわう場の創造に向け、関係機関と連携し検討を重ねながら、こみせを核として回遊性・滞留性のある商店街の環境及び景観整備に努めます。

### 直接的な対象

商店経営者、商店街

### 関連する機関等

住民、黒石商工会議所

### 市民みんなで、これまで以上に積極的に取り組みましょう

市民：日頃からできるだけ地元商店を利用し、商店街の活性化に結びつけましょう。  
事業者：消費者ニーズに対応した、魅力あるサービスを提供しましょう。

### 注目数値等

事業所数、従業員数

### 個別計画

中心市街地活性化基本計画、景観計画

### 関係課

商工観光課、都市建築課

さらに、重点プロジェクトの一つに「街並み景観の保全プロジェクト」を掲げ、美しい街なみ空間の保全、商店街の活性化、のんびり安らげる空間の創造などを位置づけている。

